

HGA 〈東日本学生ゴルフ同好会連盟〉

競技関連規則

2019年11月施行



東日本学生ゴルフ同好会連盟

目次

基本規則	3
参加者について	4
競技方法	7
ローカルルール	10

基本規則

1. 本規則は HGA の競技(春季/秋季・A/B/C リーグ戦)とそれに関する事柄について定めた規則である。
2. HGA に所属する団体及び個人は HGA の競技に参加する場合、本規則を遵守する義務を負う。
3. HGA は本規則を修正する権限を有し、すべての事柄について HGA の裁定は最終である。
4. 本規則は 2019 年 11 月 24 日から施行する。

東日本学生ゴルフ同好会連盟
第 44 期競技局長
明治グランドスラム
村上景梧

参加者について

参加者・人数

・ HGA に加入していることを前提として、競技日程において各日、各団体から選手 8 名まで、キャディ 8 名までが参加者として参加することができる。

・ 各団体は決められた期限までに選手登録表を競技委員へ提出しなければならない。選手登録表に記載がない場合、選手として参加することはできない。

・ 各団体は競技日程毎に代表者会議で選手宣言用紙を提出しなければならない。選手の人数が 8 名に満たない場合、シングルスは 1 から順に上から詰めて記名しなければならない。**ダブルスは全組一人目を記名することを必ず優先しなければならないが、1 から順に上から詰めて記名する必要はない。**

また、昼食の時間を十分に取るために同日ダブルスとシングルスどちらにも参加する選手は組順をあまり入れ換えなことを推奨する。

キャンセル・変更

①リーグ戦初日から二週間より前での参加者のキャンセル・変更に関しては各リーグの競技委員への報告により競技委員が対応・判断することとする。

②リーグ戦初日から二週間前を過ぎて参加者のキャンセルを行う場合は各リーグの競技委員への報告と開催ゴルフ場担当者への報告により、競技委員とゴルフ場担当者が対応・判断することとする。

変更を行う場合は各リーグの競技委員への報告により競技委員が対応する。

③リーグ戦初日から一週間前を過ぎての参加者のキャンセルと上記①②に従わない場合又は上記①②の判断によっては怪我などのやむを得ない理由でない限り、ゴルフ場へ迷惑がかかるため HGA として罰則を科す。

『罰則』今リーグ戦での最下位確定と、次回リーグ戦への団体としての出場停止

※「キャンセル」…参加表明していた者が参加できなくなり、団体としての参加人数が減ること

「変更」…参加表明していなかった者が新たに参加するなど、団体としての参加人数が増える又は変わらないが参加者が変わること

「参加者」…選手とキャディどちらも含む

競技方法

参加団体・人数によって変更が多いため、ここでは2019年での競技方法を示す。

競技形式

Aリーグ・Bリーグ：マッチプレー

Cリーグ：ポイント制

Aリーグ・Bリーグ

1日目・2日目：1ラン→ダブルス、1ラン→シングルス

3日目：0.5ラン→ダブルス、1ラン→シングルス

Cリーグ

1日のみ：1ラン→シングルス

※ポイント制

団体ごとに全選手のポイントの合計で順位を決定する。

トリプルボギー以上	-1 点
ダブルボギー	0 点
ボギー	1 点
パー	2 点
バーディ	4 点
イーグル	8 点
アルバトロス	16 点

競技規則

日本ゴルフ協会競技規則および本競技ローカルルール

対戦団体

A リーグ 4 団体(1 位：前回 A リーグ優勝団体、2 位：前回 A リーグ 2 位団体、3 位：前回 A リーグ 3 位団体、4 位：前回 B リーグ優勝団体)

1 日目：1 位 vs4 位 2 位 vs3 位

2 日目：1 位 vs3 位 2 位 vs4 位

3 日目：1 位 vs2 位 3 位 vs4 位

B リーグ 3 団体(1 位：前回 A リーグ 4 位団体、2 位：
前回 B リーグ 2 位団体、3 位：前回 B リーグ 3 位団
体、団体人数差から C リーグとの入れ替えなし)

1 日目：2 位 vs3 位 1 位練習ラウンド

2 日目：1 位 vs3 位 2 位練習ラウンド

3 日目：1 位 vs2 位 3 位練習ラウンド

C リーグ 2 or3 団体

1 日のみ：ポイント制のため総当たり戦

ローカルルール

本競技ローカルルールは日本ゴルフ協会競技規則に優位である。

本競技ローカルルール以外の基本ルールは日本ゴルフ協会競技規則に則す。

- ①グリーン上で OK が同伴者(対戦相手)から認められるまたはコンシードする場合、パターピック※¹をすることに罰はないこととする。

補足 これは以前まで罰を設けていたものである。

- ②グリーン上における『お先』パットに対して罰はないこととする。

補足 これは以前まで罰を設けていたものである。

- ③ハーフのプレー時間が先頭組は約 2 時間半※²を過ぎた場合(ただし、前の組が一般客で詰まっている

場合は除く)、先頭以降の組は前の組と 1 ホール以上間隔が空いた場合、その組の選手が所属する団体の選手全員が翌日(最終日の場合は次回リーグ戦の初日)のシングルスで 2 down^{※2} 状態からスタートしなければならない。

④朝礼への遅刻では遅刻した者が所属する団体の選手全員がその日のシングルスで 2 down^{※2} 状態からスタートしなければならない。

⑤スタート時間の 10 分前までにその組の選手はテニ
ーグラウンドにいななければならない。

10 分前までにいなかった場合、遅刻した選手は 2down^{※2} 状態からスタートしなければならない。

⑥各日シングルスとダブルスのスタート時、選手は全員以下の物を必ず持っていなければならない。持っていない場合その選手は 2down^{※2} の状態でスター

トすることとする。

また、距離計測器の新ルール通りの使用は可能とし
ゴルフ場のヤーテージブックも使用可能である。

持ち物 ①目土袋(市販の目土用ボトルは可、ペッ
トボトル等代用品は不可)

②スコップ

③グリーンフォーク

④ルールブック(最新版又は一年前の物)

⑦基本的には決着がつき次第、残りホールはプレーせ
ず切り上げてクラブハウスに戻ることに。

決着がついた後もラウンドを続けていいという場
合もあるため、その場合は各リーグ競技委員に従う
こと。

⑧キャディに関して、各日のシングルス・ダブルス毎
にシングルスでは選手1人にキャディ1人、ダブル
スでは各組各団体にキャディを2人まで同伴させ

ることができる。

プレー中の同伴キャディの変更はシングルスでは不可、ダブルスは同組同団体内では可とする。

⑨ダブルス時、同組同団体でアドバイスは可能である。

シングルス時、完全に選手間でのアドバイスは禁止とする。しかし、選手とその選手の同伴キャディ間でのアドバイスは可能。

⑩打順に関して、スタート時は上位団体の選手(同組同団体内での打順はどちらからでも構わない)から順にティーショットを行う。

〈A リーグ・B リーグ〉・ダブルスでは前ホールでup した団体の選手(同組同団体内での打順はどちらからでも構わない)からティーショットを行う。

ドローの場合は前ホールと同じ打順(団体の順番のみ)で行う。・シングルスでは対戦選手間で前ホールup した選手が先にティーショットすることとし、

同組内の他選手との打順は特に定めない。

〈Cリーグ〉前ホールの打数が少ない順にティークロスを行う。同じ場合は前ホールと同じ打順で行なう。

⑪ タイのマッチの延長(日本ゴルフ協会競技規則、規則3 〈競技〉、3.2 〈マッチプレー〉、3.2a 〈ホールとマッチの結果〉、(4))に関しては延長することなくタイで終わらせることとする。

⑫ 結果が最終となるとき(日本ゴルフ協会競技規則、規則3 〈競技〉、3.2 〈マッチプレー〉、3.2a 〈ホールとマッチの結果〉、(5))に関して、全日程全組がホールアウトし競技結果が全団体に発表されたときマッチの結果は最終となる。

⑬ ハンディキャップマッチでのハンディキャップの適用(日本ゴルフ協会競技規則、規則3 〈競技〉、3.2

〈マッチプレー〉、3.2 c)に関して、ハンディキャップマッチは行わない。

※1 ボールを手で拾うのではなく、パターのバックフェースでボールを拾い上げること。

※2 この時間と罰に関しては各リーグの競技局員の判断により変更できるものとする。